

測定ファイル内容

測定器情報

項目	項目名	書式	内容
HIOKI PW3360 (VerX.XX)	本体情報 (バージョンナンバー)	S/N.123456789	PW3360 製造番号
FOLDER	フォルダ名	自動: YYMMDDXX 任意: ABCDE (半角 5 文字)	フォルダ名
WIRING	結線	1P2W/1P2Wx2/1P2Wx3/ 1P3W/1P3W1U/1P3W+I/ 1P3W1U+I/3P3W2M/ 3P3W2M+I/ 3P3W3M/3P4W/ I/Ix2/Ix3	結線設定 I: 電流のみ
OPERATION	PF/Q/S 演算選択	RMS/FND	力率 PF/ 無効電力 Q/ 皮相電力 S の演算選択 RMS: 実効値演算 FND: 基本波演算
FREQUENCY	周波数	50Hz/60Hz	周波数設定
THD (PW3360-11 のみ)	THD 演算選択	THD-F/THD-R	総合高調波歪み率の 演算選択 参照: 「付録 4 用語解 説」 (p. 付 7)
INTERVAL	保存インターバル時間	1sec/2sec/5sec/10sec/ 15sec/30sec/1min/2min/ 5min/10min/15min/ 20min/30min/60min	保存インターバル時 間
U RANGE	電圧レンジ	600V	電圧レンジ設定 600V 固定
I RANGE	電流レンジ	5A/10A/50A/100A/500A (9661 センサの場合)	電流レンジ設定 クランプセンサ種類 による 複数回路の場合は複 数回路分
SENSOR	クランプセンサ	9660(100A)/9661(500A)/ 9694(5A)/9669(1000A)/ 9695-02(50A)/ 9695-03(100A)/ CT9667(500A)/ CT9667(5000A)/ 9657-10(10A)/9675(10A)	クランプセンサ設定 複数回路の場合は複 数回路分
VT(PT)	VT(PT) 比	任意: 0000.01 ~ 9999.99 選択: 1/60/100/200/300/ 600/700/1000/2000/ 2500/5000	VT(PT) 比設定
CT	CT 比	任意: 0000.01 ~ 9999.99 選択: 1/40/60/80/120/ 160/200/240/300/400/ 600/800/1200	CT 比設定 複数回路の場合は複 数回路分

136

9.3 記録測定データを Excel® で確認する

項目	項目名	書式	内容
PULSE	パルス入力スケーリング	0.001 ~ 100.000	パルス入力スケーリング設定
	パルス入力補助単位	p/n/u/m/なし(スペース)/k/M/G/T	パルス入力補助単位設定
	パルス入力単位	任意：ABCDE(半角 5 文字)	パルス入力単位設定
ENERGY COST	電気料金単価	0.00000 ~ 99999.9	電気料金単価 (/kWh) 設定
	電気料金通貨単位	任意：ABC(半角 3 文字)	電気料金通貨単位設定

測定情報

項目	項目名	書式	内容
Date	出力日時	YYYY-MM-DD hh:mm:ss	出力日時
Etime	経過時間	hhhh:mm:ss	記録開始からの経過時間
Status	測定情報	HGFEDCBA (A ~ H : 0 または 1)	A : U1(電圧 CH1) ピークオーバー B : U2(電圧 CH2) ピークオーバー C : U3(電圧 CH3) ピークオーバー D : I1(電流 CH1) ピークオーバー E : I2(電流 CH2) ピークオーバー F : I3(電流 CH3) ピークオーバー G : 周波数エラー H : インターバル間に停電が発生 <例> I1(電流 CH1) ピークオーバーデータを含んでいる場合 00001000

測定データヘッダ

項目	項目名	内容
Freq_xxx[Hz]	周波数	
U1_xxx[V]	電圧実効値 U1(CH1)	参照:「5.4 電圧・電流値の詳細(実効値・基本波値・ピーク値・位相角)を見る」(p. 付 87)
U2_xxx[V]	U2(CH2)	
U3_xxx[V]	U3(CH3)	
U12_xxx[V]	U12(CH12) 3P3W2M 時の U1,U2 から求めた 3 チャネル目の演算値	
Ufnd1_xxx[V]	電圧基本波値 U1(CH1)	
Ufnd2_xxx[V]	U2(CH2)	
Ufnd3_xxx[V]	U3(CH3)	
Ufnd12_xxx[V]	U12(CH12) 3P3W2M 時の U1,U2 から求めた 3 チャネル目の演算値	
Upeak1_xxx[V]	電圧波形ピーク値(絶対値) U1(CH1)	
Upeak2_xxx[V]	U2(CH2)	
Upeak3_xxx[V]	U3(CH3)	
Upeak12_xxx[V]	U12(CH12) 3P3W2M 時の U1,U2 から求めた 3 チャネル目の演算値	
Udeg1_xxx[deg]	電圧基本波位相角 U1(CH1)	
Udeg2_xxx[deg]	U2(CH2)	
Udeg3_xxx[deg]	U3(CH3)	
Udeg12_xxx[deg]	U12(CH12) 3P3W2M 時の U1,U2 から求めた 3 チャネル目の演算値	

138

9.3 記録測定データを Excel® で確認する

項目	項目名	内容
I1_xxx[A]	電流実効値 I1 (CH1)	参照:「5.4 電圧・電流値の詳細 (実効値・基本波値・ピーク値・位相角) を見る」(p.87)
I2_xxx[A]	I2 (CH2)	
I3_xxx[A]	I3 (CH3)	
I12_xxx[A]	I12 (CH12) 3P3W2M 時の I1,I2 から求めた 3 チャンネル目の演算値	
Ifnd1_xxx[A]	電流基本波値 I1 (CH1)	
Ifnd2_xxx[A]	I2 (CH2)	
Ifnd3_xxx[A]	I3 (CH3)	
Ifnd12_xxx[A]	I12 (CH12) 3P3W2M 時の I1,I2 から求めた 3 チャンネル目の演算値	
Ipeak1_xxx[A]	電流波形ピーク値 (絶対値) I1 (CH1)	
Ipeak2_xxx[A]	I2 (CH2)	
Ipeak3_xxx[A]	I3 (CH3)	
Ipeak12_xxx[A]	I12 (CH12) 3P3W2M 時の I1,I2 から求めた 3 チャンネル目の演算値	
Ideg1_xxx[deg]	電流基本波位相角 I1 (CH1)	
Ideg2_xxx[deg]	I2 (CH2)	
Ideg3_xxx[deg]	I3 (CH3)	
Ideg12_xxx[deg]	I12 (CH12) 3P3W2M 時の I1,I2 から求めた 3 チャンネル目の演算値	
P1_xxx[W]	有効電力 P1 (CH1)	
P2_xxx[W]	P2 (CH2)	
P3_xxx[W]	P3 (CH3)	
P_xxx[W]	P (総合)	
S1_xxx[VA]	皮相電力 S1 (CH1)	
S2_xxx[VA]	S2 (CH2)	
S3_xxx[VA]	S3 (CH3)	
S_xxx[VA]	S (総合)	
Q1_xxx[var]	無効電力 Q1 (CH1)	
Q2_xxx[var]	Q2 (CH2)	
Q3_xxx[var]	Q3 (CH3)	
Q_xxx[var]	Q (総合)	

項目	項目名	内容
PF1_xxx	力率 PF1(CH1)	参照:「PF/Q/S 演算選択」 (p.67) 参照:「付録4 用語解説」 (p.付7)
PF2_xxx	PF2(CH2)	
PF3_xxx	PF3(CH3)	
PF_xxx	PF(総合)	
DPF1_xxx	変位力率 DPF1(CH1)	
DPF2_xxx	DPF2(CH2)	
DPF3_xxx	DPF3(CH3)	
DPF_xxx	DPF(総合)	
WP+[Wh]	有効電力量(消費)	記録開始からの有効電力量 (消費)
WP+1[Wh]～WP+3[Wh]	有効電力量(消費) 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の 有効電力量(消費)	
WP-[Wh]	有効電力量(回生)	記録開始からの有効電力量 (回生)
WP-1[Wh]～WP-3[Wh]	有効電力量(回生) 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の 有効電力量(回生)	
WQLAG[varh]	無効電力量(遅れ)	記録開始からの無効電力量 (遅れ)
WQLAG1[varh]～ WQLAG3[varh]	無効電力量(遅れ) 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の 無効電力量(遅れ)	
WQLEAD[varh]	無効電力量(進み)	記録開始からの無効電力量 (進み)
WQLEAD1[varh]～ WQLEAD3[varh]	無効電力量(進み) 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の 無効電力量(進み)	
Ecost	電気料金	WP+× 電気料金単位設定 値
Ecost1～Ecost3	電気料金 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の電気料金	
WP+dem[Wh]	有効電力デマンド量(消費)	インターバル時間毎の有効 電力量(消費)
WP+dem1[Wh]～ WP+dem3[Wh]	有効電力デマンド量(消費) 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の 有効電力デマンド量(消費)	
WP-dem[Wh]	有効電力デマンド量(回生)	インターバル時間毎の有効 電力量(回生)
WP-dem1[Wh]～ WP-dem3[Wh]	有効電力デマンド量(回生) 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の 有効電力デマンド量(回生)	
WQLAGdem[varh]	無効電力デマンド量(遅れ)	インターバル時間毎の無効 電力量(遅れ)
WQLAGdem1[varh]～ WQLAGdem3[varh]	無効電力デマンド量(遅れ) 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の 無効電力デマンド量(遅れ)	
WQLEADdem[varh]	無効電力デマンド量(進み)	インターバル時間毎の無効 電力量(進み)
WQLEADdem1[varh]～ WQLEADdem3[varh]	無効電力デマンド量(進み) 1 回路目～3 回路目 1P2W～1P2W×3 の回路別の 無効電力デマンド量(進み)	

項目	項目名	内容
Pdem+[W]	有効電力デマンド値 (消費)	インターバル時間毎の有効電力 (消費) の平均値
Pdem+1[W] ~ Pdem+3[W]	有効電力デマンド値 (消費) 1 回路目 ~ 3 回路目 1P2W ~ 1P2W×3 の回路別の有効電力デマンド値 (消費)	
Pdem-[W]	有効電力デマンド値 (回生)	インターバル時間毎の有効電力 (回生) の平均値
Pdem-1[W] ~ Pdem-3[W]	有効電力デマンド値 (回生) 1 回路目 ~ 3 回路目 1P2W ~ 1P2W×3 の回路別の有効電力デマンド値 (回生)	
QdemLAG[var]	無効電力デマンド値 (遅れ)	インターバル時間毎の無効電力 (遅れ) の平均値
QdemLAG1[var] ~ QdemLAG3[var]	無効電力デマンド値 (遅れ) 1 回路目 ~ 3 回路目 1P2W ~ 1P2W×3 の回路別の無効電力デマンド値 (遅れ)	
QdemLEAD[var]	無効電力デマンド値 (進み)	インターバル時間毎の無効電力 (進み) の平均値
QdemLEAD1[var] ~ QdemLEAD3[var]	無効電力デマンド値 (進み) 1 回路目 ~ 3 回路目 1P2W ~ 1P2W×3 の回路別の無効電力デマンド値 (進み)	
PFdem	力率デマンド値	インターバル時間毎の力率の平均値
PFdem1 ~ PFdem3	力率デマンド値 1 回路目 ~ 3 回路目 1P2W ~ 1P2W×3 の回路別の力率デマンド値	$\frac{P_{dem} +}{\sqrt{(P_{dem} +)^2 + (Q_{demLAG})^2}}$
Pulse	パルス入力値	インターバル時間毎のパルス入力カウント値×スケールリング設定値 (補助単位含む)

- 注記**
- ・平均値データは [xxx] が [Avg] になります。
 - ・最大値データは [xxx] が [Max] になります。
 - ・最小値データは [xxx] が [Min] になります。
 - ・項目名の [] 内は単位を表します。
 - ・電圧、電流ピーク値に平均値はありません。
 - ・結線が「電流のみ」の場合、電流基本波位相角に平均値はありません。

測定データ

データ	データフォーマット	内容
正常データ	12.345E+00	指数データを出力します。
無効データ	0.0000E+99	表示が [----] となり、測定不能の場合、無効データを出力します。例えば無入力の場合、力率は測定不能 (無効データ) となります。